

# 事務事業評価シート(平成19年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名				
06501	下水道料金収納・調定事務	建設水道課	下水道係	根橋 正美	一ノ瀬 和博				
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 25 日	連絡先(内線)	2169				
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分			事業コード	事業名(歳出予算見積書)			
		<input type="checkbox"/>	一般	<input checked="" type="checkbox"/>	特別	5700	公共下水道総務事務		
	<input type="checkbox"/>	一般	<input checked="" type="checkbox"/>	特別	5730	特定環境保全公共下水道総務事務			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)			3章	夢のある地域形成		
		節	(コード選択)			1節	町の基盤を整備する		
		項[基本施策]	(コード選択)			314	下水道の普及		
主な取り組み		(コード選択)			3147	下水道料金収納・調定事務			
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他	
事務期間	(開始)	3 年度	~	(終了予定)	年度	L	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

下水道を利用している全ての方

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

公共下水道料金及び小野特定環境保全公共下水道料金の算定・徴収を正しく行い、公正な運営を行う

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 上水道検針に基づく下水道料金の正しい算定及び徴収、並びに上水道との連携による収納率の向上
- 2 下水道が整備された地域における下水道接続の推進
- 3 上水道係との連家による口座振替の推進
- 4

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		18年度	19年度	20年度 (見込み)	21年度 (見込み)	22年度	年度 (見込み)	
①	指標名	下水道接続世帯数	世帯	5,338	5,474	5,594	5,694	5,784
	説明	下水道接続世帯数	目標値設定の根拠	最終整備地区である下辰野駅前地区の整備が平成20年度で完了。平成22年度には接続世帯率で88.8%(5803世帯)を見込む。				
②	指標名	口座振替率	%	90.4	93.4	93.6	93.7	93.9
	説明	口座振替件数/下水道接続件数×100	目標値設定の根拠	平成19年度は月平均5363件の口座振替依頼を行っているが、平成22年度には93.9%(5694件)を見込む。				

指標化

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		18年度	19年度	20年度 (見込み)	21年度 (見込み)	22年度	年度 (見込み)	
①	指標名	現年度使用料の徴収率	%	99.6	99.5	99.6	99.6	99.7
	説明	収納済金額/徴収すべき金額×100	目標値設定の根拠	18年度・19年度実績を基に目標値を設定				
②	指標名	過年度使用料の徴収率	%	17.8	22.3	19.0	19.3	19.7
	説明	収納済金額/徴収すべき金額×100	目標値設定の根拠	18年度・19年度実績を基に目標値を設定				

## (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	17,585	11,687	11,637	11,587																
対前年比		%		66.5	99.6	99.6																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		(千円)	17,585	11,687	11,637	11,587																
B) 一般財源(税金)		(千円)	0	0	0	0																
①事業費		(千円)	6,883	5,100	5,050	5,000																
対前年比		%		74.1	99	99																
②人件費の概算		(千円)	10,702	6,587	6,587	6,587																
対前年比		%		61.5	100	100																
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費											
			H19	H20	H21	H19	H20	H21	H18	H19	H20	H21										
町職員(正規職員)			0.02	0.02	0.02	0.06	0.06	0.06	0.16	0.16	0.16	0.69	0.70	0.70	1.64	0.94	0.95	0.95	10,702	6,587	6,587	6,587
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート										0	0	0	0						

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後可能性はない 水道料金収納・調定事務
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	D	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり 使用料収入で事業の管理運営費を賄える水準に料金を設定するのが本来であるが、利用者負担が急増してしまうので、徐々に近づけるとともに接続率の向上を図る。
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する  イ. 見直しのうえで継続する  ウ. 終期設定  エ. 廃止  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

上下水道の徴収事務と一体で、19年9月からコンビニ収納の活用を開始した。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

現年を最優先で収納を行うことが、「滞納を減らす」一番の近道と考える。上下水道職員一体となつて<給水停止>措置も講じながら取り組みたい。

20年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

収納率の向上に取り組んでいる。さら収納方法の選択枝を広めることを検討

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大  D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持  イ. 見直しのうえで継続する  ウ. 終期設定  エ. 廃止  オ. 休止



b 上記 a~e を選択